

NO. 3 事業名 林道事業 [森林基幹道開設事業 (国補)]

箇所・地区名 あしならしとうげ
足馴峠線

平成23年度 公共事業再評価調書

1. 再評価調書

(区分) 国補・県単

事業名	林道事業〔森林基幹道開設事業（国補）〕		事業箇所	富士川町小室 ～富士川町平林	地区名	足馴峠線	事業主体	山梨県												
	当初計画	現計画	今回見直し予定	⑤再々評価時の評価状況 (平成18年度再評価) 予算の重点配分と構造物の縮小等によるコスト縮減及び時間・工程管理を徹底し、予定どおり平成30年度の完成に努められたい。																
計画期間	H9～H30	—	—																	
総事業費	5,775百万円	—	—																	
(1) 事業の概要				(2) 評価項目〔事業を巡る社会経済情勢等の変化〕																
<p>①事業目的及び効果 本路線は富士川町小室と、平林を結ぶ連絡林道であり、源氏山一帯の県有林を中心とした広大な森林を管理経営することを目的とする森林基幹道である。 利用区域1, 652haのうちヒノキ・カラマツ等の人工林は78%を占めており、森林を適正に管理し、資源を循環利用する木材生産に加え、国土保全、水源かん養、保健休養等の森林の公益的機能を発揮させるための基盤となる林内路網の骨格的な林道である。 また、本林道の開設により基幹林道である丸山林道と五開茂倉林道とを連絡し、地域道路網の機能の向上を図り、地域振興、活性化に寄与する。</p> <p>②事業概要 森林基幹道 計画延長 23,100m 幅員 4.0m 利用区域面積 1,652ha 森林資源蓄積量 184,347m³</p> <p>③全体計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成22年度まで</th> <th>平成23年度 (評価実施年度)</th> <th>平成24年度以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開設延長</td> <td>14,872m</td> <td>1,022m</td> <td>7,206m</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>2,734百万円</td> <td>240百万円</td> <td>2,801百万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>④特記事項 国の森林・林業再生プランで新たに位置づけられた林業専用道を本路線の枝線として本年度から開設し、森林作業道も含めた林内路網の構築を進める計画である。本地域では、これらの路網を活用し、本年3月の東日本大震災の発生以降高まっている仮設住宅建築用材の需要に対応すべく、ヒノキ・カラマツの間伐を緊急に実施しており、最寄の峡南森林組合において加工し、被災地への供給量の拡大を図っている。</p>					平成22年度まで	平成23年度 (評価実施年度)	平成24年度以降	開設延長	14,872m	1,022m	7,206m	事業費	2,734百万円	240百万円	2,801百万円	<p>①地域・住民の意向状況 本林道は、当地域一帯の森林整備の推進や、観光客の増大に伴う地域の活性化のために欠かせない路線であるため、今後も事業の促進と早期完成を大いに望んでいる。 (富士川町長からの意見書) 本林道は、湯島～西山地区の水源林を通過する道であり、今後も森林整備の効率的な実施により、健全な森林環境の形成や水源かん養機能の向上が期待できるため、事業の促進を要望する。 (早川町長からの意見書)</p> <p>②産業・経済情勢 東日本大震災により、復旧、復興のための杭丸太などの国産材需要が高まっている。</p> <p>③国等の方針変更 ・森林・林業再生プラン 国は平成21年12月に「森林・林業再生プラン」を策定し、今後10年間で国産材自給率の目標を50%とし、森林施業の集約化、新たな林内路網の考え方に基づく路網の加速的整備により、効率的・安定的な森林経営の基盤づくりを進めることとしている。</p> <p>④上位計画・関連事業計画等の変更 ・富士川中流域森林計画（平成19～28年度） ・第2次県有林管理計画（平成23～32年度） ・山梨県林道網整備計画（平成16～35年度）</p> <p>⑤自然環境条件等の変化 なし。</p> <p>⑥その他 なし。</p>				
	平成22年度まで	平成23年度 (評価実施年度)	平成24年度以降																	
開設延長	14,872m	1,022m	7,206m																	
事業費	2,734百万円	240百万円	2,801百万円																	
				(3) 評価項目〔再評価時点の費用対効果分析〕																
				<ul style="list-style-type: none"> ・事業採択時計画における事業全体B/C 便益(B)/費用(C) = 未算出 ・再評価時計画における事業全体B/C 便益(B)/費用(C) = 未算出 ・再々評価時計画における事業全体B/C 便益(7,051百万円)/費用(5,348百万円) = 1.32 > 1.0 (平成18年度再々評価) ・再々々評価時計画における事業全体B/C 便益(7,171百万円)/費用(6,500百万円) = 1.10 > 1.0 (平成23年度再々々評価) (林野公共事業における事前評価マニュアルにより算出 事業採択基準値1.00以上) 																

2. 再評価調書

<p>(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]</p> <p>①計画変更等の概要 なし。</p> <p>②施工済みの事業内容 全体計画のとおり。</p> <p>③進捗率 (整備済計15,894m/全体23,100m)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>H18*</td> <td>H19</td> <td>H20</td> <td>H21</td> <td>H22</td> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>計画</td> <td>45</td> <td>50</td> <td>54</td> <td>59</td> <td>63</td> <td>68</td> <td>72</td> <td>77</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>48</td> <td>51</td> <td>55</td> <td>61</td> <td>64</td> <td>68</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>算出方法</td> </tr> <tr> <td>計画</td> <td>86</td> <td>90</td> <td>95</td> <td>100</td> <td>計画延長/総延長×100</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>実施延長/総延長×100</td> </tr> </table> <p>*再々評価年度 (H23は見込み)</p> <p>④事業の進捗が順調でない理由 なし。</p>		H18*	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	計画	45	50	54	59	63	68	72	77	81	実績	48	51	55	61	64	68					H27	H28	H29	H30	算出方法	計画	86	90	95	100	計画延長/総延長×100	実績					実施延長/総延長×100	<p>⑤今後の事業執行上の問題点 なし。</p> <p>⑥今後の事業の進捗の見込み ・必要となる事業費の確保に努めつつ、コスト縮減を行い、計画どおり平成30年度の完了を目指す。</p> <p>⑦事業計画の変更の見込み・可能性 なし。</p>
	H18*	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26																																								
計画	45	50	54	59	63	68	72	77	81																																								
実績	48	51	55	61	64	68																																											
	H27	H28	H29	H30	算出方法																																												
計画	86	90	95	100	計画延長/総延長×100																																												
実績					実施延長/総延長×100																																												
(5) 評価項目 [コスト縮減の可能性]																																																	
<p>地形に沿った平面・縦断線形をとり、切盛土量の均衡及び路側構造物等を縮小する。また、路肩の縮小や法面保護工の見直しを行い、総合的なコスト縮減に努める。</p>																																																	
(6) 評価項目 [代替案立案の可能性]																																																	
なし。																																																	
(7) 所管部の今後の方針 (<u>継続</u>) 見直し継続 ・ その他 ()																																																	
<p>今後の事業計画により、平成30年度の完成が見込まれることから、工程管理の徹底やコスト縮減に努めながら事業を継続する。</p>																																																	

省略

省略

3. 添付資料シート(1)

□現況等写真



計画地遠景(市川三郷町富士川河川敷より望む)

3. 添付資料シート(2)

□現況等写真



林道沿線の植栽実施箇所の状況



林道沿線の間伐実施箇所の状況

3. 添付資料シート(3)

□現況等写真



既設林道状況



峡南森林組合の木材集積場